

## メシル酸ペルゴリド錠 50 $\mu$ g「アメル」 メシル酸ペルゴリド錠 250 $\mu$ g「アメル」

### 【この薬は？】

販売名	メシル酸ペルゴリド錠 50 $\mu$ g「アメル」 Pergolide Mesilate Tablets 50 $\mu$ g 「AMEL」	メシル酸ペルゴリド錠 250 $\mu$ g「アメル」 Pergolide Mesilate Tablets 250 $\mu$ g 「AMEL」
一般名	ペルゴリドメシル酸塩 Pergolide mesilate	
含有量 (1錠中)	50 $\mu$ g	250 $\mu$ g

### 患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、パーキンソン病治療剤（麦角（ばっかく）製剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳内の神経伝達物質であるドパミンの受容体を刺激して、パーキンソン病の症状である手足のふるえ、筋肉が硬くなる、動作緩慢、歩行障害などを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

#### パーキンソン病

- ・非麦角（ひばっかく）製剤の治療効果が不十分または忍容性に問題がある（非麦角（ひばっかく）製剤による副作用のため治療が困難）と考えられる人に用いら

れます。

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

G-16.4

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去に麦角（ばっかく）製剤で過敏な反応を経験したことがある人
- ・心エコー検査により心臓弁膜の病変があると診断された人および過去に診断されたことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・精神病の人、または過去に精神病になったことのある人
- ・不整脈の人、または過去に不整脈になったことのある人
- ・胸膜炎、胸水、胸膜線維症、肺線維症、心膜炎、心膜滲出液（しんまくしんしゅつえき）、後腹膜線維症と診断された人、または過去にこれら症状になったことのある人
- ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人
- ・高齢の人
- ・レイノー病（指先が冷たくなる、指先が青白くなるなど）の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬の使用前に心エコー検査などにより、心臓弁膜症の有無が確認されます。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

- ・この薬は、通常、レボドパ含有製剤と併用して飲みます。
- ・飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
- ・通常、成人は、50 $\mu$ g錠1錠を1日1回、夕食直後に飲み始め、症状、年齢などにあわせて少しずつ増量し、最も適した飲む量を決めて維持量とします（標準維持量は250 $\mu$ g錠を1日3～5錠）。
- ・1日量が2錠の場合は朝食直後に1錠および夕食直後に1錠、1日量が3錠以上の場合は毎食直後に飲むように指示されます。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついたときに、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

嘔吐（おうと）、血圧が下がる、興奮、幻覚、動悸（どうき）、脈が乱れるなどの症状があらわれる可能性があります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれた場合には、すぐに受診してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・本剤の開始時に消化器症状（吐き気、嘔吐（おうと）など）や血圧の低下がみられることがあります。症状がみられた場合は、医師に相談してください。
- ・本剤を長期にわたり服用している人で、服用を突然中止した場合、幻覚があらわれることがあります。本剤を中止する場合には、医師の指示通りに減量してください。
- ・心臓弁膜症があらわれることがあります。息切れしやすくなる、呼吸が苦しくなる、胸がドキドキする、などの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・この薬の使用中は、使用開始後 3～6 ヶ月以内に、それ以降は少なくとも 6～12 ヶ月ごとに心エコー検査が行われます。また、定期的に聴診などの身体所見、胸部 X 線、CT などの検査が行われます。
- ・間質性肺炎があらわれることがあります。発熱、せき、呼吸困難などの症状が認められた場合には、ただちに医師に相談してください。
- ・前兆のない突発的睡眠（前兆なく急に眠り込んでしまう）、傾眠（眠気でぼんやりする）がみられることがあるので、自動車の運転や高所での作業などの危険を伴う作業は行わないようにしてください。
- ・社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族の方は、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。



重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 (Syndrome malin) あくせいしょうこうぐん (シンドロームマリン)	発熱、脈が早くなる、筋肉がこわばる、意識障害、呼吸が苦しくなる、ショック状態になる
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	呼吸が苦しくなる、発熱、から咳
胸膜炎 きょうまくえん	胸の痛み、発熱、から咳、息切れ、呼吸が苦しくなる
胸水 きょうすい	胸の痛み、から咳、息切れ、呼吸が苦しくなる
胸膜線維症 きょうまくせんいしょう	胸の痛み、から咳、息切れ、呼吸が苦しくなる
肺線維症	胸の痛み、から咳、息切れ、呼吸が苦しくなる

重大な副作用	主な自覚症状
はいせんいししょう	
心膜炎 しんまくえん	胸の痛み、発熱、息切れ、呼吸が苦しくなる
心膜滲出液 しんまくしんしゅつえき	胸の痛み、息切れ、呼吸が苦しくなる
心臓弁膜症 しんぞうべんまくしょう	呼吸が苦しくなる、息切れ、下肢のむくみ、胸がドキドキする
後腹膜線維症 こうふくまくせんいししょう	腰痛、背中の痛み、下肢のむくみ、尿量が減る
突発的睡眠 とつぱつてきすいみん	前兆もなく突然眠る
幻覚 げんかく	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
妄想 もうそう	根拠のない思い込み
せん妄 せんもう	意識の混乱
腸閉塞 ちょうへいそく	嘔吐（おうと）、便やガスが出ない、激しい下腹部痛、むかむかする
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下
失神 しっしん	気を失う
肝機能障害 かんきのうしょうがい	体がだるい、食欲がない
黄疸 おうだん	白目や皮膚が黄色くなる
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	歯ぐきの出血、あおあざができる、出血しやすい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脈が早くなる、筋肉がこわばる、ショック状態になる、発熱、体がだるい、出血しやすい
眼	白目が黄色くなる
口や喉	から咳、嘔吐（おうと）、歯ぐきの出血
胸部	呼吸が苦しくなる、胸の痛み、息切れ、胸がドキドキする
腹部	激しい下腹部痛、むかむかする、食欲がない
背中	腰痛、背中の痛み
足	下肢のむくみ
皮膚	皮膚が黄色くなる、あおあざができる
便	便やガスが出ない
その他	意識の低下、意識障害、前兆もなく突然眠る、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、意識の混乱、気を失う

## 【この薬の形は？】

販売名	メシル酸ペルゴリト錠50 $\mu$ g「アメル」	メシル酸ペルゴリト錠250 $\mu$ g「アメル」
形状	錠剤（割線入り） 	錠剤（割線入り） 
長径	11.6mm	11.6mm
短径	6.3mm	6.3mm
厚さ	4.0mm	4.0mm
重さ	300.0 mg	300.0 mg
色	うすい黄色	うすい緑色
識別コード	KW572	KW573

## 【この薬に含まれているのは？】

販売名	メシル酸ペルゴリト錠50 $\mu$ g「アメル」	メシル酸ペルゴリト錠250 $\mu$ g「アメル」
有効成分	ペルゴリドメシル酸塩（メシル酸ペルゴリド）	
添加物	D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、黄色三二酸化鉄、ステアリン酸マグネシウム、	D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、黄色三二酸化鉄、青色2号アルミニウムレーキ、ステアリン酸マグネシウム

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
  - ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
- 製造販売会社：共和薬品工業株式会社

(<http://www.kyowayakuhin.co.jp/>)

お問い合わせ窓口

フリーダイヤル：0120-041-189

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）